

風物詩

早起きは美味しいものの宝庫!&潮風を浴びて爽快クルージング!

関西国際空港の対岸に位置する田尻町で、今一番活気のあるところが田尻漁港です。この辺りは、今から700年も前の嘉元元年（1303）頃にできた『歌枕名寄』や延慶3年（1310）頃にできた『夫木和歌抄』で“月をだに吉見の里の秋の暮れ松風ならでとふ人もなし”と歌われたほど、かつては美しい松林がひろがっていましたが、関西国際空港の開港に合わせ整備されたりんくうタウン地区の埋立てによってその様子は一変し、昔の面影はもうありません。反面、近年整備された「マーブルビーチ」や田尻漁港を跨ぐ斜張橋の「田尻スカイブリッジ」、沖合いの「関西国際空港」などの近代的施設が豊かな自然と調和し、固有の美しい景観を再びつくり上げております。

それらの中心に位置する田尻漁港で毎週日曜日に開催される朝市には、近隣はもとより大阪市内などから、豊かな自然と新鮮な魚介類を求めて多くの人々が集い、活気に満ち溢れております。

また、田尻漁業協同組合が実施している漁業体験や釣り堀が、学校行事や会社の親睦会などに利用されており、今まさに食育の発信拠点として位置づけられつつあります。



◎田尻日曜朝市

漁港内で、毎週日曜日の午前7時から正午まで、地元の新鮮な魚介類をはじめ、野菜、果物、花、日用品など様々な商品を直売する「日曜朝市」が開か

れます。

最近では、漁業農業祭や泉州黄たまねぎ祭といった農業イベントも活発に行われるようになり、漁業の活性化のみならず、地域の活性化にも貢献しています。

◎田尻漁業体験

漁船で沖合いに繰り出し、マーブルビーチなどの美しい海岸線や関西国際空港を目前に望みながら漁業体験が楽しめます。現役の漁師さんの指導のもと、『刺網漁業』や『かご漁』を実際に体験したあとは、りんくうタウンと関西国際空港を結ぶスカイゲートブリッジをくぐり、空港近くまでクルージング。海側から見る関空や飛行機の姿は迫力満点です。

港に戻ったら獲ったばかりの新鮮な魚介類を交えて海鮮バーベキュー。タコやアナゴなどを漁師さんがその場でさばいて刺身にしたり、天ぷらにしたり、



ダイナミックな海鮮料理の数々は、どれも格別の美味しさです。



◎海釣ぼーと田尻（釣り堀）

波静かな田尻漁港内に位置し、関西国際空港を望む絶好のロケーションの中、鯛やハマチ、ヒラメ、シマアジなど季節の魚釣りを楽しめます。

● お問い合わせ先 ●

田尻町事業部産業振興課

TEL : 072-466-5008

FAX : 072-466-5025